

いつまでも いきいきと 健康生活

鹿児島市では、4つの健康課題に取り組んでいます。

長寿健診の
受診率の向上

生活習慣病による
腎臓病の予防

転倒骨折予防

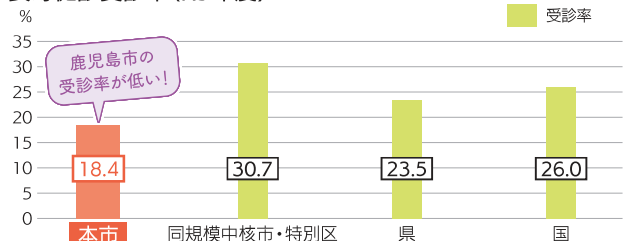
フレイルの予防

鹿児島市の高齢者の健診・医療・介護の状況は以下の通りです。

長寿健診の状況

国、県、同規模中核市・特別区と比較して、**本市の長寿健診受診率は低い**状況となっています。
長寿健診を受診している人の方が医療費は抑えられる傾向にありますので、ぜひ受診をおすすめします。

長寿健診受診率(R5年度)

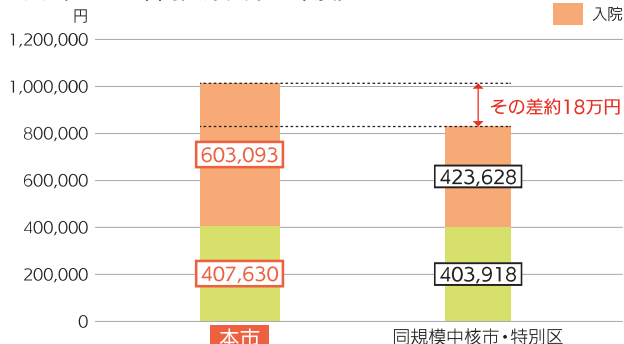


KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題より

医療費の状況

1人当たりの年間医療費は、令和5年度、同規模中核市・特別区に比べ**入院医療費の差が特に大きい**。

1人当たりの年間医療費(R5年度)



KDBシステム 健康スコアリング(医療)より

後期高齢者の人工透析の状況

人工透析患者数が
年々増加

人工透析患者の
約55%が糖尿病
約90%が高血圧
治療中

国、県、
同規模中核市・特別区より
透析患者の割合が
高い

第Ⅲ期鹿児島市国民健康保険データヘルス計画より

生活習慣病悪化に伴う
人工透析患者が多い

介護が 必要になった原因

脳卒中、転倒骨折、認知症が介護が必要になる主な原因になっています。脳卒中発症の危険因子は、生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症など)です。

生活習慣病、転倒骨折、認知症の予防は、介護予防にもつながっています。

高齢者等実態調査集計結果報告書(R5年3月 鹿児島市)